

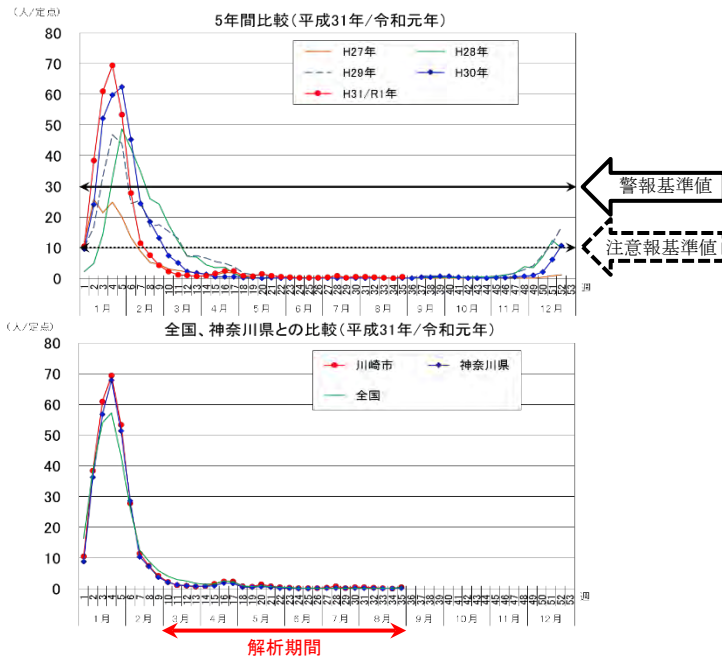
# 定点把握疾患の届出状況(平成31年3月～令和元年8月)

## <インフルエンザ定点対象疾患>

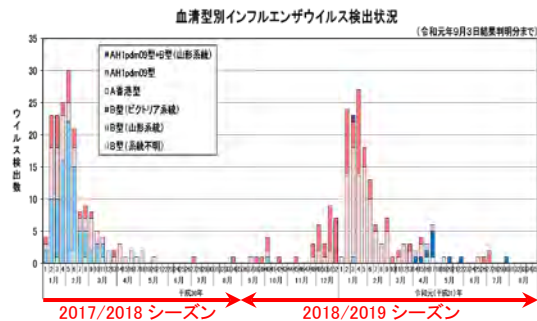
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

### 【川崎市】

今期(平成31年3月～令和元年8月)は定点当たり0.83人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると0.44倍で、例年より低いレベルで推移しました。2018/2019シーズンは、平成30年第50週に流行開始の目安である定点当たり1.00人を超え、昨シーズンと比べて3週間遅く流行が始まり、平成30年第52週及び平成31年第2週に流行発生注意報基準値及び流行発生警報基準値をそれぞれ超え、第4週に流行のピーク(定点当たり69.41人)となりました。第12週以降は定点当たり1.00人を下回り非流行期となりましたが、第15週以降B型インフルエンザが小流行し一旦流行期となった後、第21週に再び非流行期となりました。7月、8月は再び患者報告数が増加し、学級閉鎖等もみられるなど、例年と比べて高いレベルで推移しました。

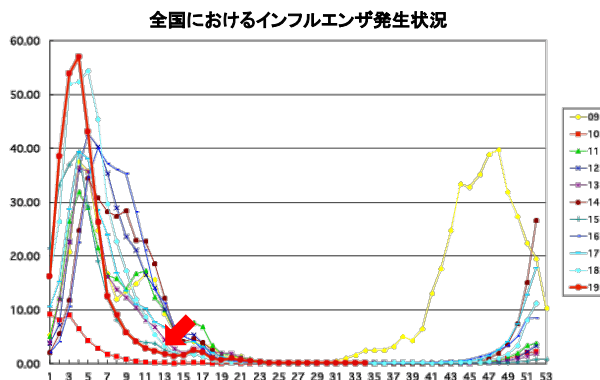


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2018/2019シーズンは、A香港型が104件、AH1pdm09型が71件、B型(ビクトリア系統)が10件、B型(山形系統)が2件、B型(系統不明)が3件、AH1pdm09型及びB型(山形系統)が1件検出されました。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

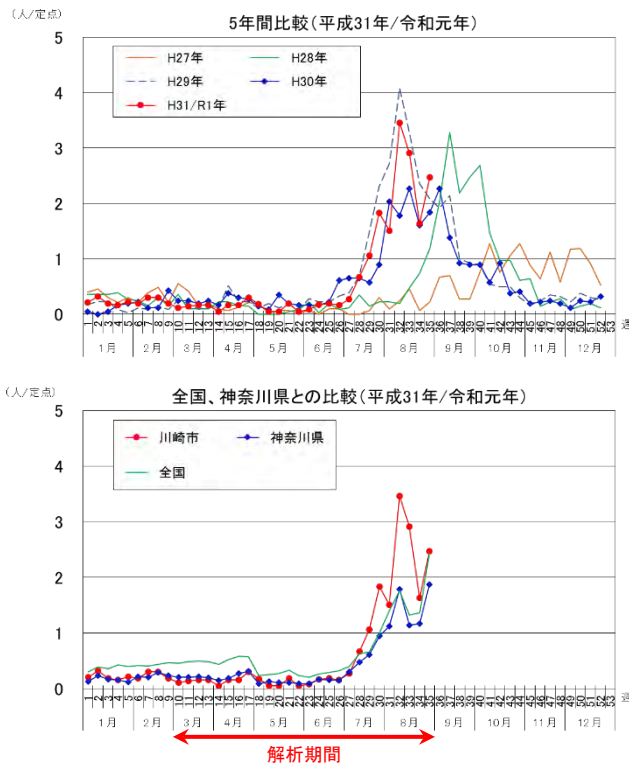


# <小児科定点対象疾患>

## RSウイルス感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.66 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.71 倍で、例年より高いレベルで推移しました。7 月上旬以降報告数が急増し、特に 8 月は例年より高いレベルで推移しました。

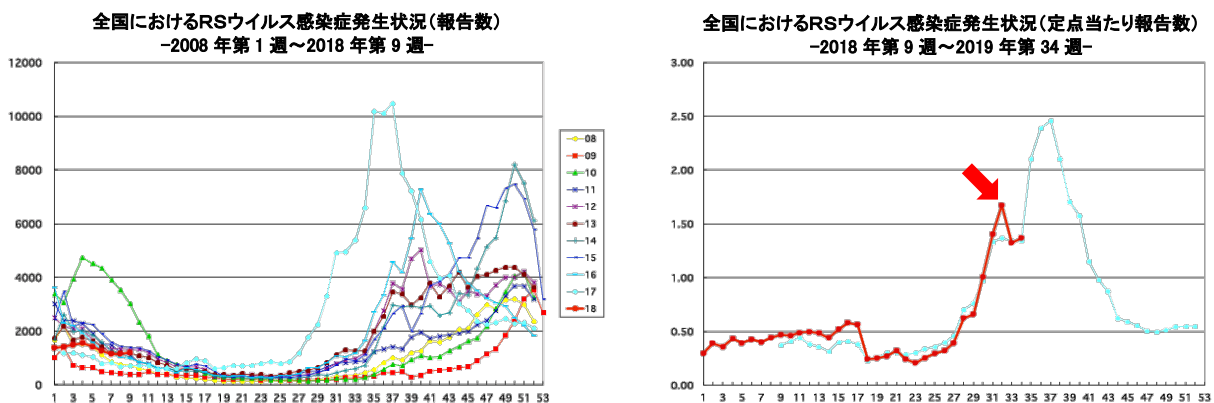


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	7 か月	H31.4.15	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
中原区	女	2	R1.5.20	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
中原区	女	1	R1.7.24	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
多摩区	男	4 か月	R1.7.25	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
多摩区	男	1	R1.7.29	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
川崎区	男	1	R1.7.31	鼻汁	RS ウイルス B 型
幸区	女	10 か月	R1.8.5	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
中原区	男	1	R1.8.5	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
幸区	男	1	R1.8.9	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
幸区	男	3	R1.8.13	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
高津区	女	7 か月	R1.8.26	咽頭ぬぐい液	RS ウイルス A 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



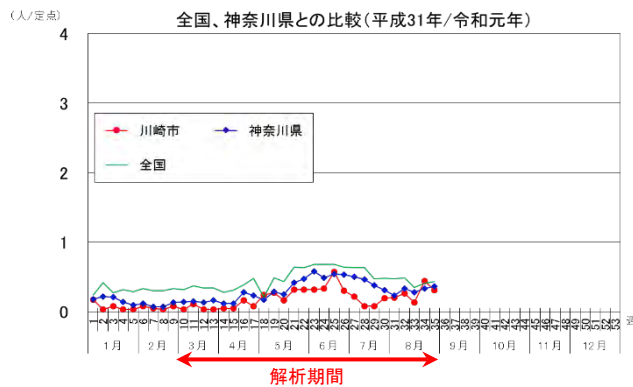
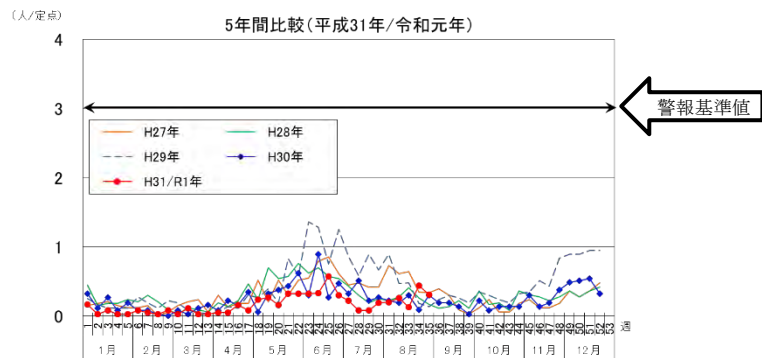
※2018 年第 9 週(2 月 26 日~3 月 4 日)から、国立感染症研究所における RS ウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

## 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり0.20人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると0.53倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(3)以上となった週はありませんでした。

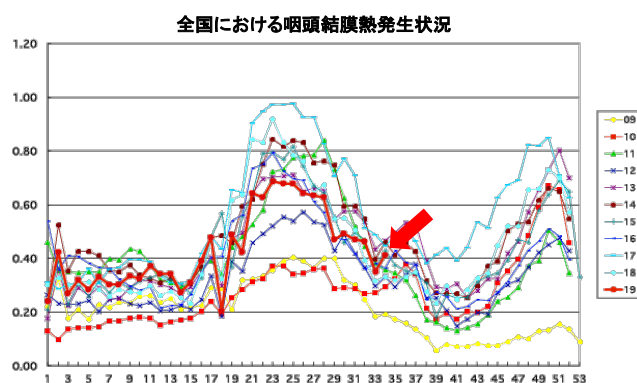


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	男	1	R1.5.30	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3型
多摩区	男	1	R1.6.4	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1型
中原区	女	1	R1.6.7	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1型
多摩区	女	1	R1.6.20	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 4型
多摩区	男	2	R1.8.19	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3型

### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

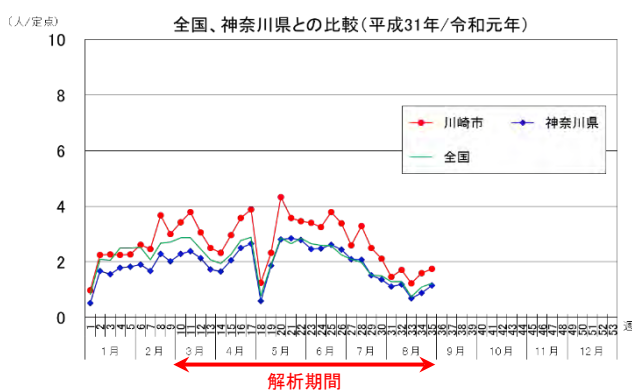
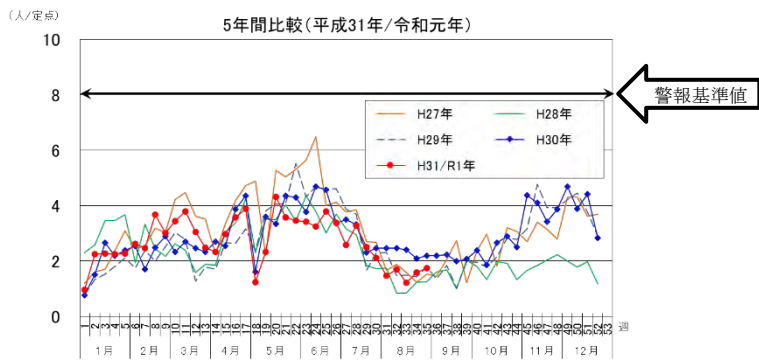


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.86 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.02 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週は、幸区で第 20 週 (9.25 人) でした。

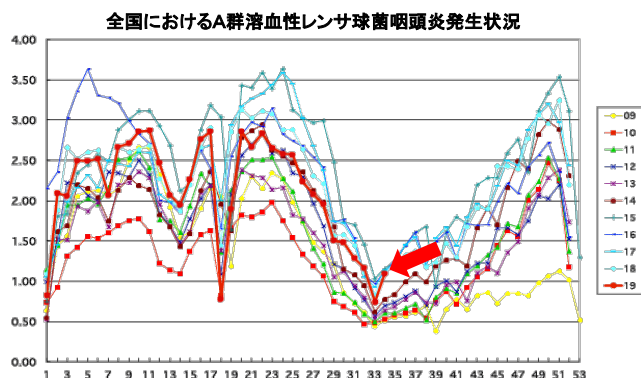


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	3	H31.3.13	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T6
幸区	男	4	H31.3.22	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不能
多摩区	女	4	H31.3.22	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T1
中原区	男	3	H31.4.8	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T6
幸区	女	45	H31.4.24	咽頭ぬぐい液	不検出
中原区	男	2	R1.5.7	咽頭ぬぐい液	不検出
幸区	男	8	R1.5.13	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T6
中原区	男	8	R1.6.5	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T4
幸区	男	5	R1.6.11	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T25
多摩区	男	4	R1.6.20	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T12
幸区	男	5	R1.6.24	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T12
中原区	女	6	R1.7.2	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T12
宮前区	男	4	R1.7.16	咽頭ぬぐい液	不検出
中原区	男	1	R1.8.19	咽頭ぬぐい液	不検出

### 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

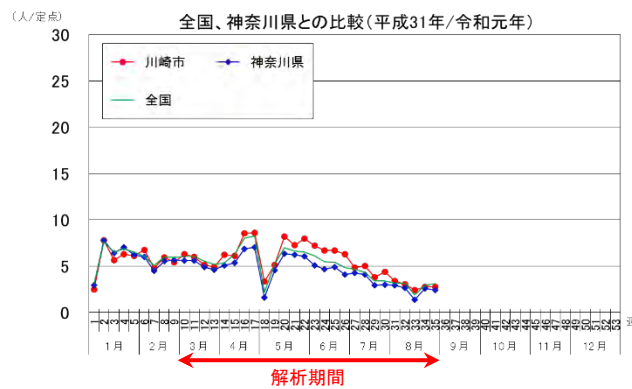
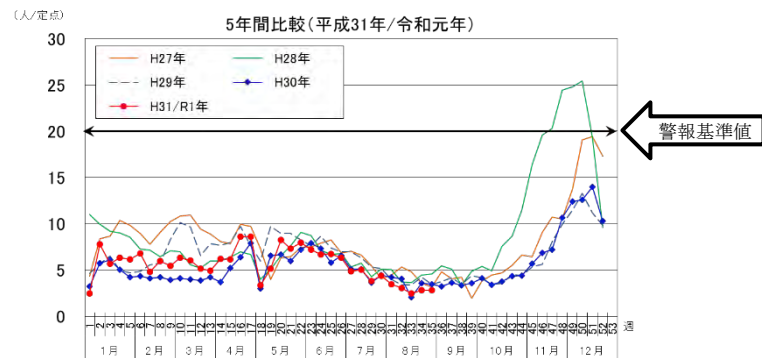


# 感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 5.64 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.89 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) 以上となった週はありませんでした。

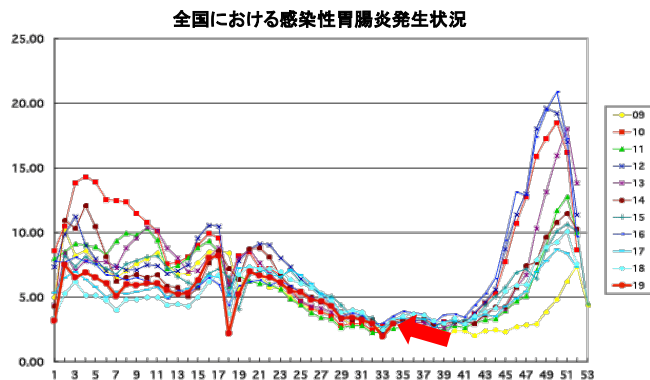


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果(ウイルス)	検査結果(細菌)
宮前区	男	2	H31.3.4	ふん便	ノロウイルス GII.4	陰性

## 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

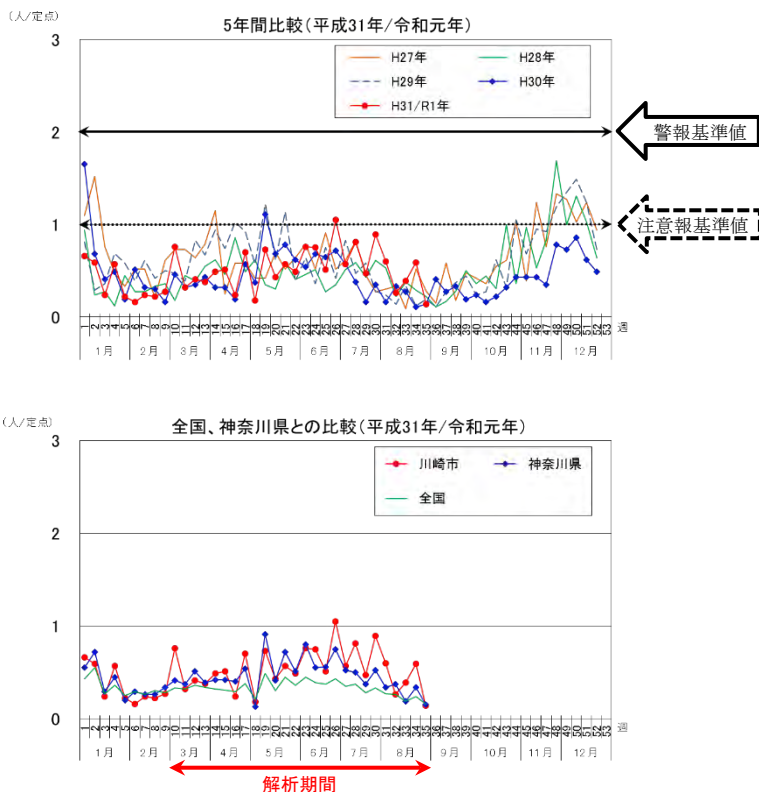


## 水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.55 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.94 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週は、川崎区で第 34 週 (2.00 人)、高津区で第 17 週 (2.17 人)、第 24 週 (2.17 人)、宮前区で第 19 週 (2.00 人)、麻生区で第 10 週 (4.00 人) でした。

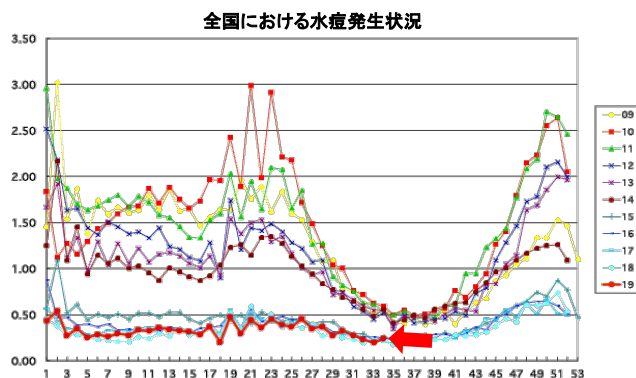


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
高津区	女	9	R1.6.7	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	女	3	R1.7.2	咽頭ぬぐい液	水痘・帯状疱疹ウイルス
					ヒトヘルペスウイルス 6B 型
					ヒトヘルペスウイルス 7 型

### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

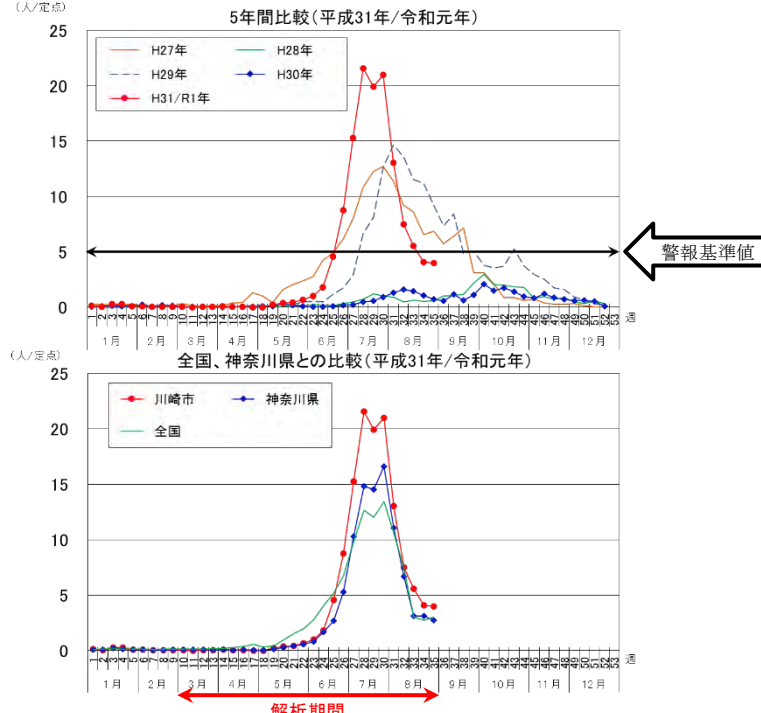


# 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 5.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.72 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。6 月上旬以降報告数が増加し、第 26 週には定点当たり患者報告数が 8.76 人となり流行発生警報基準値を超えました。流行のピークは第 28 週の定点当たり 21.58 人で、平成 11 年のデータ収集開始以降最多の報告数となりました。

今期は、第 27 週～第 31 週に全ての区で流行発生警報基準値 (5) を超えました。

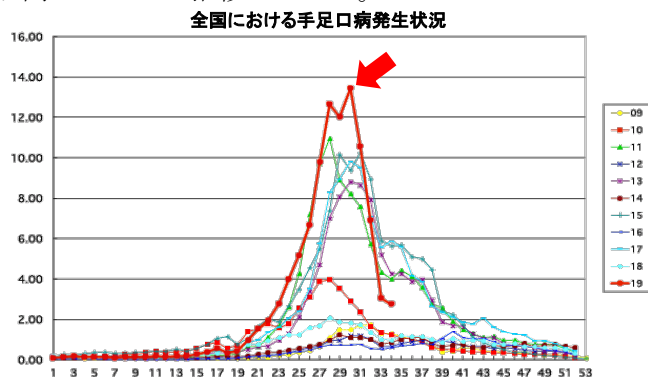


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	2	H31.3.18	咽頭ぬぐい液	エンテロウイルス 71 型
中原区	男	3	R1.5.7	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
高津区	男	7	R1.5.27	咽頭ぬぐい液	水痘帯状疱疹ウイルス
					ヒトヘルペスウイルス 6B 型
中原区	男	10 か月	R1.6.12	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 7 型
宮前区	男	9 か月	R1.6.17	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	男	2	R1.6.26	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型
多摩区	男	2	R1.7.1	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
高津区	男	1	R1.7.2	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
中原区	女	1	R1.7.3	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	男	3	R1.7.4	咽頭ぬぐい液	サイトメガロウイルス
					ヒトヘルペスウイルス 6B 型
幸区	女	4	R1.7.8	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	男	1	R1.7.11	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	男	1	R1.7.16	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	女	3	R1.7.24	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
高津区	男	5	R1.8.5	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型
中原区	男	2	R1.8.5	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	男	5	R1.8.6	咽頭ぬぐい液	ライノウイルス
高津区	男	1	R1.8.19	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型

## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。

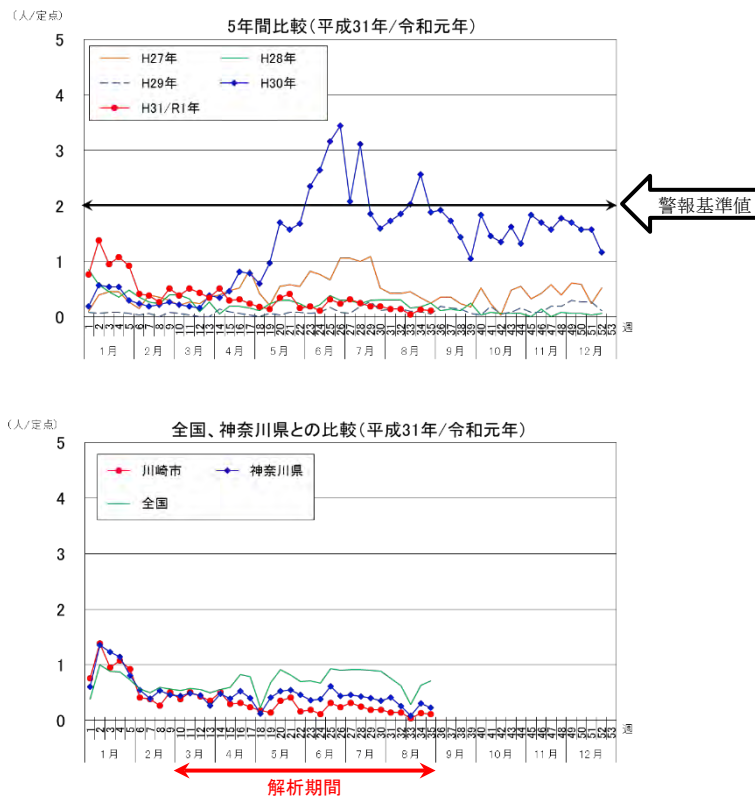


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.26 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.41 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

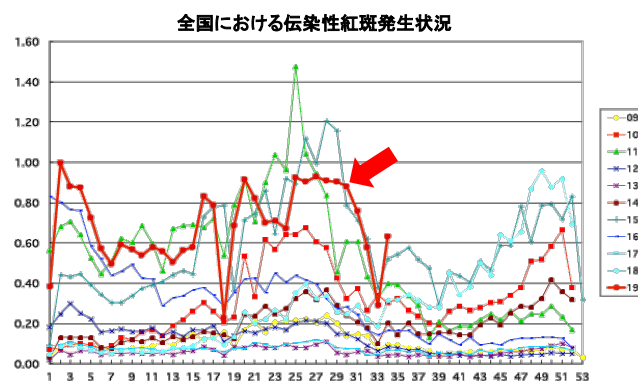
今期、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週は、川崎区で第 18 週 (2.00 人) でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。



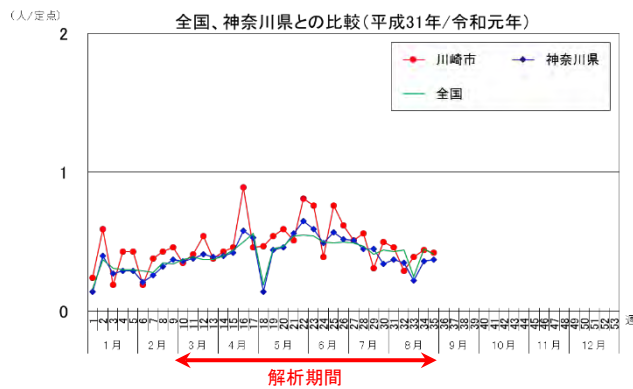
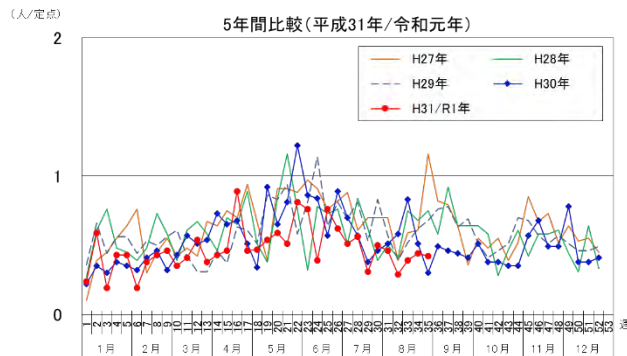


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.51 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.75 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

また、年齢階級別では 1 歳以下が 80.4% を占めていました。

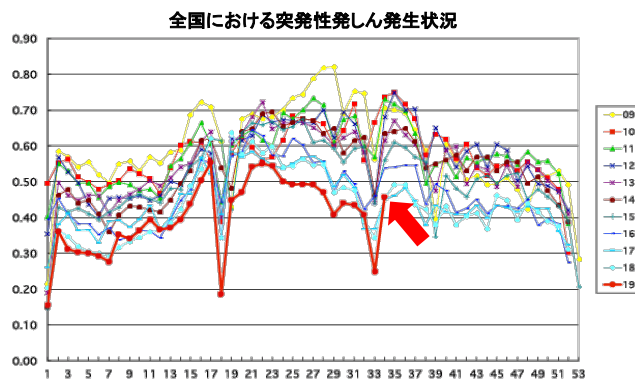


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	男	2	R1.5.9	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 7 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

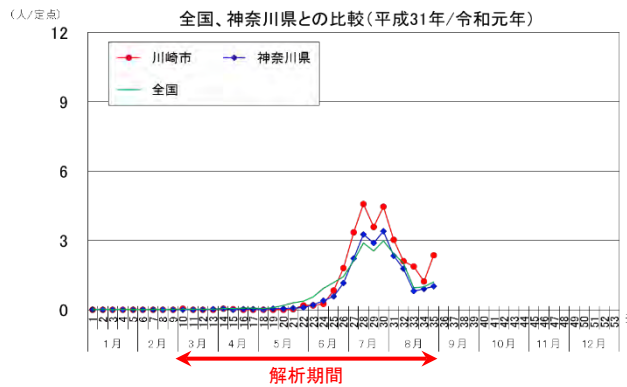
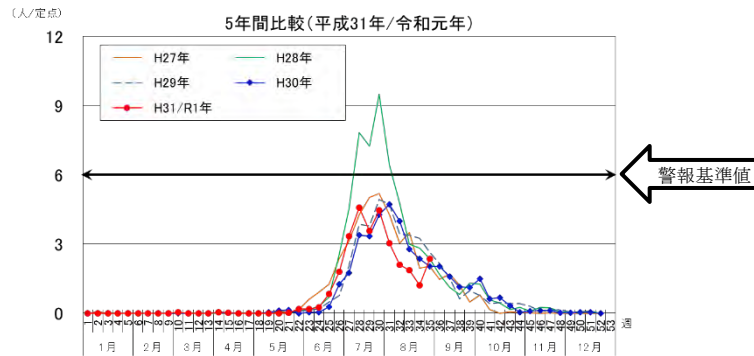


# ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.15 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.71 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (6) 以上となった週は、高津区で第 28 週 (7.33 人)、多摩区で第 27 週 (7.60 人)、第 28 週 (8.80 人)、第 29 週 (8.00 人)、第 30 週 (8.40 人)、第 31 週 (6.50 人)、第 35 週 (9.80 人) でした。

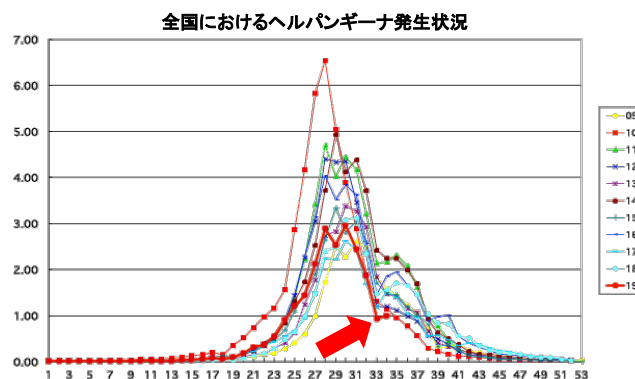


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	1	R1.7.5	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型

## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

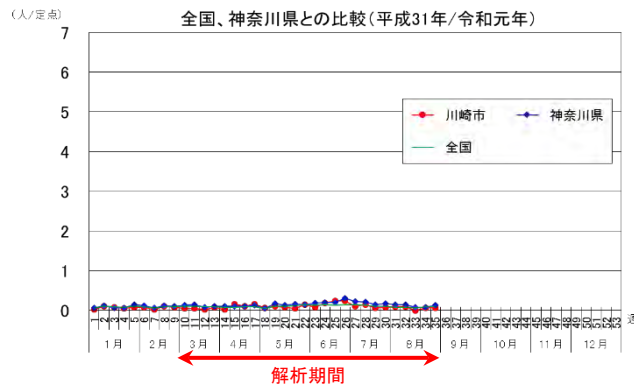
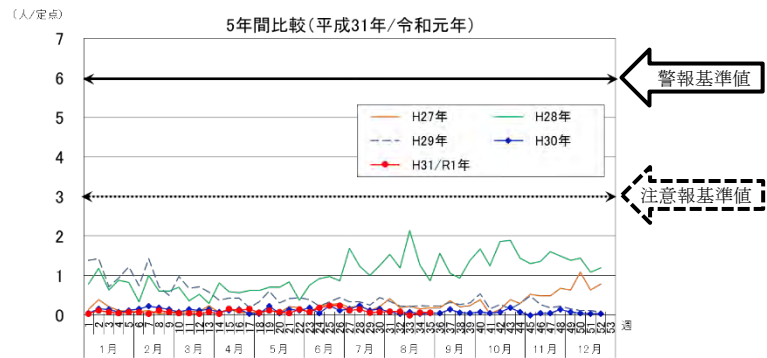


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり0.10人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると0.28倍で、例年より低いレベルで推移しました。

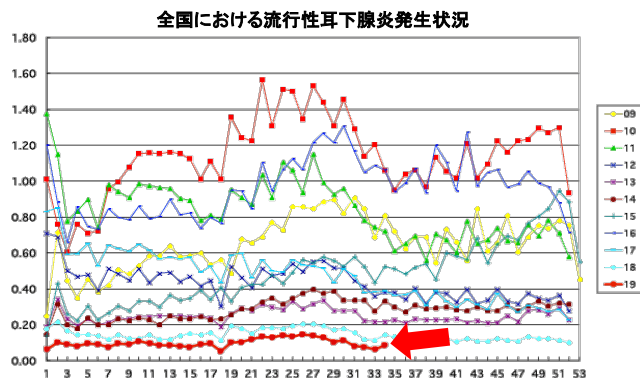
今期、流行発生注意報基準値(3)以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

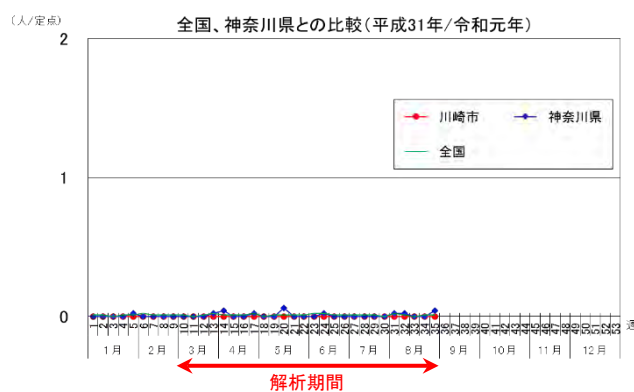
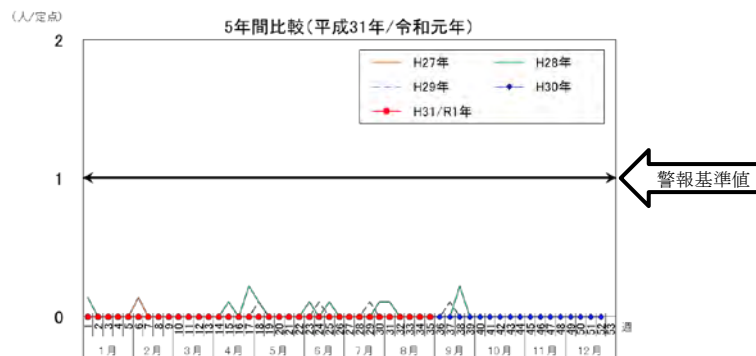


## <眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

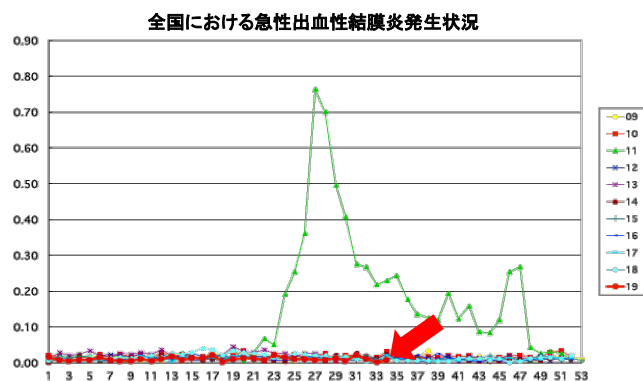
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

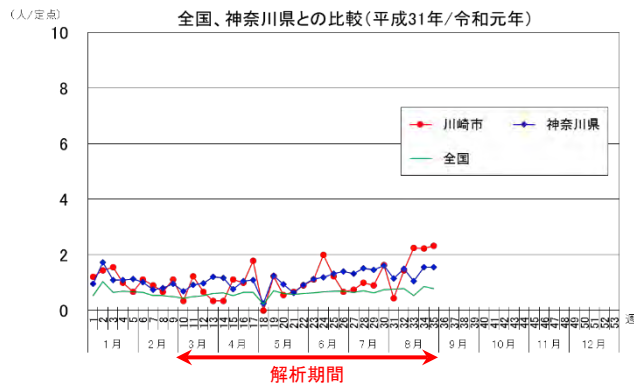
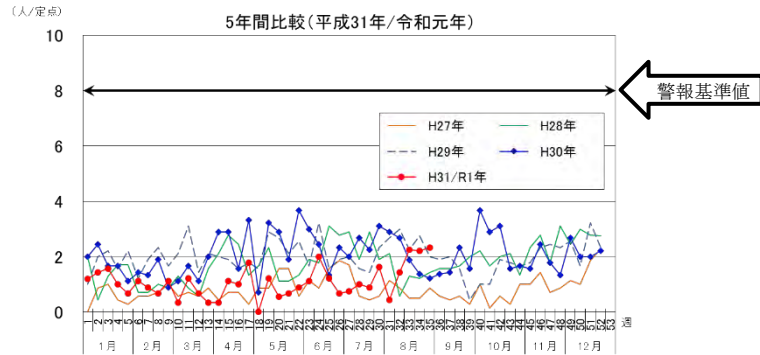


# 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.67 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。

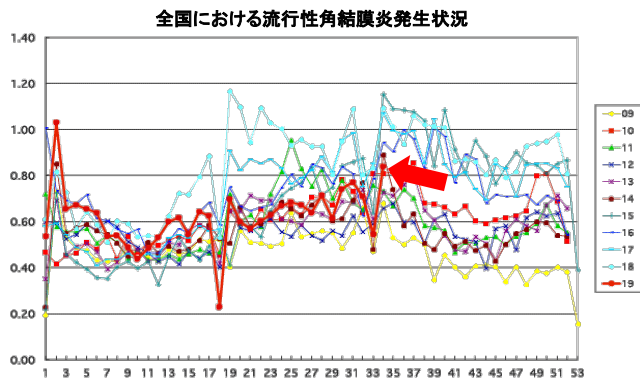


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	38	R1.7.21	眼脂	陰性

## 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

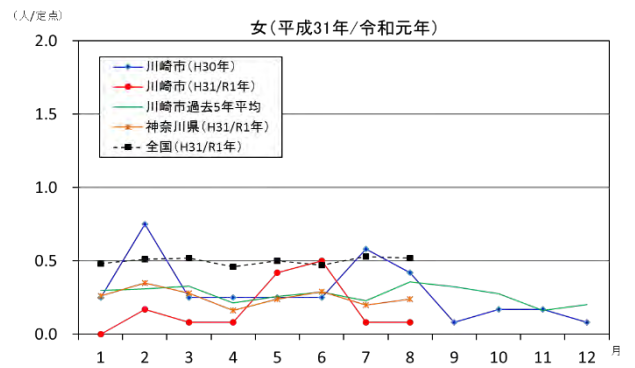
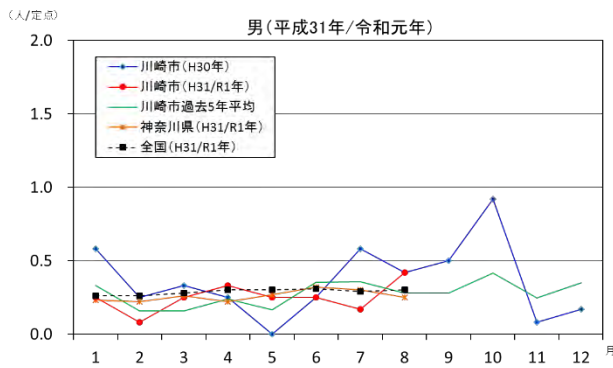
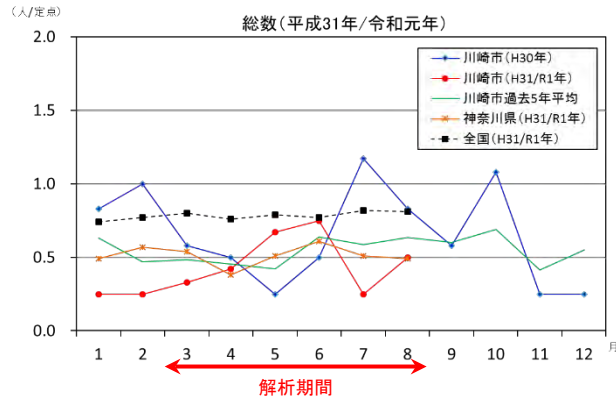




# 性器ヘルペスウイルス感染症

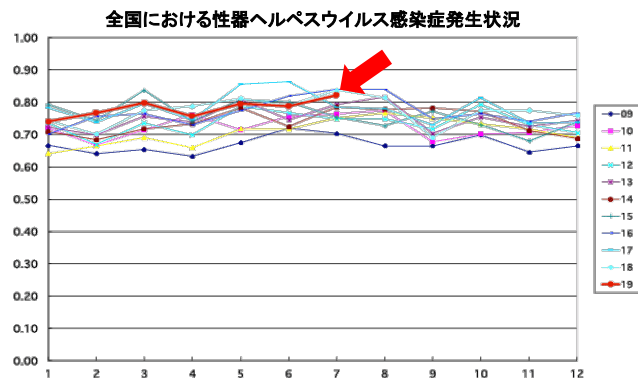
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.49 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.91 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に 5 月、6 月は女性の報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

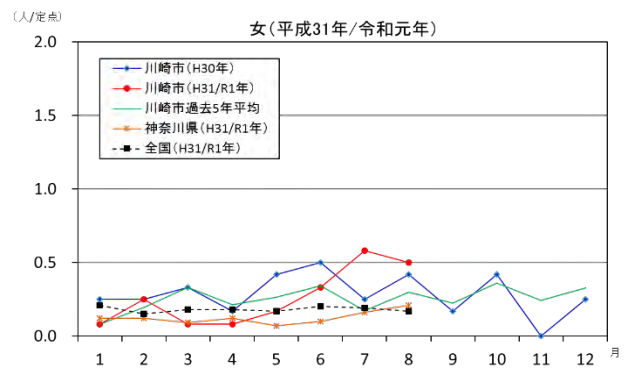
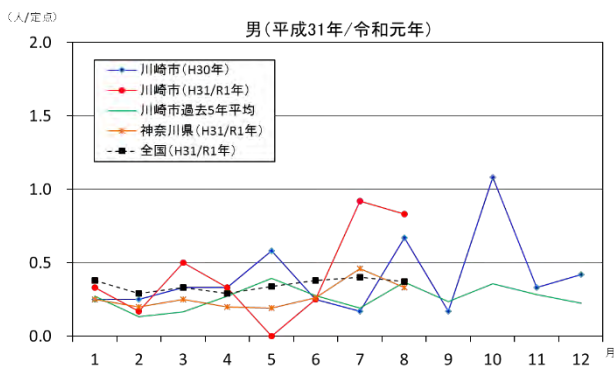
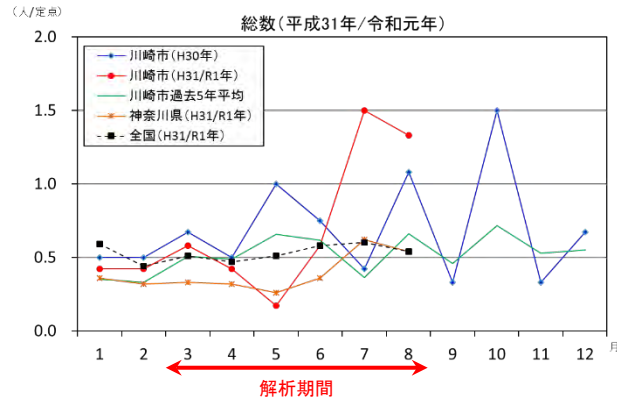
全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

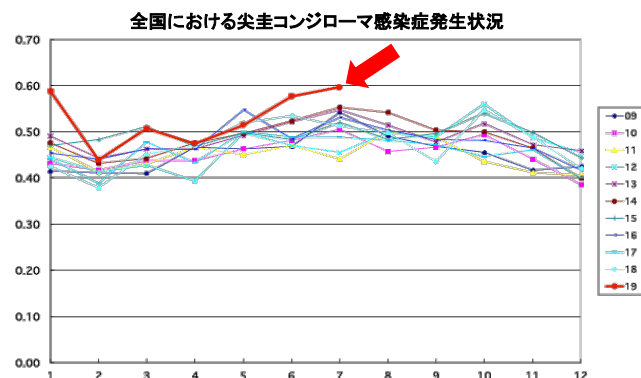
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.76 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.38 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に 7 月は男女共に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

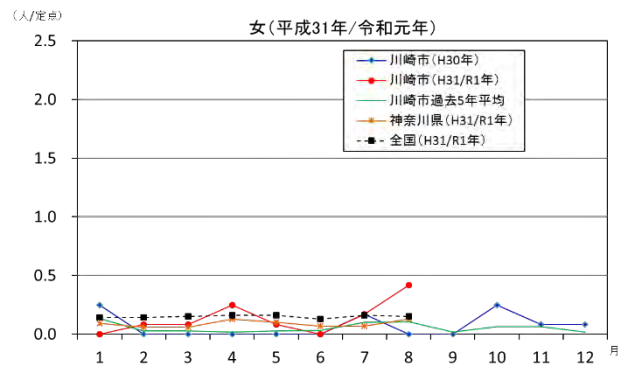
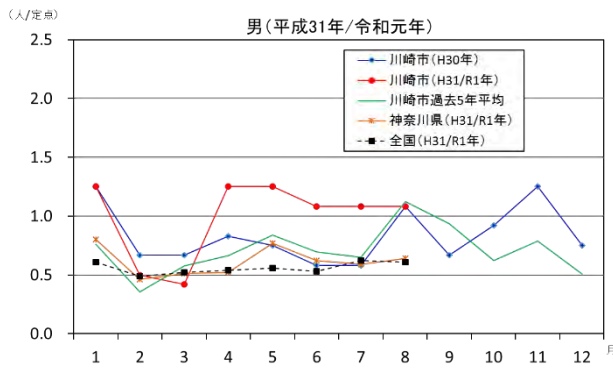
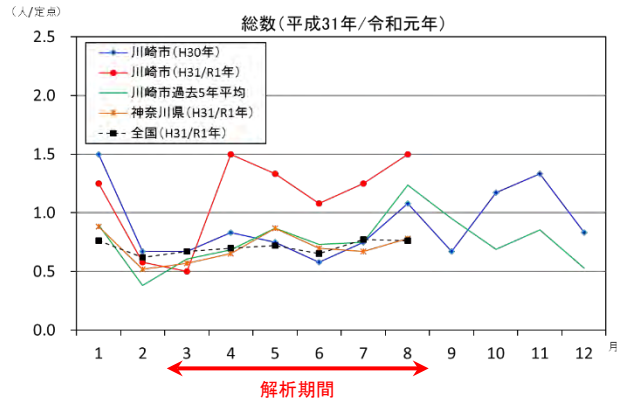




# 淋菌感染症

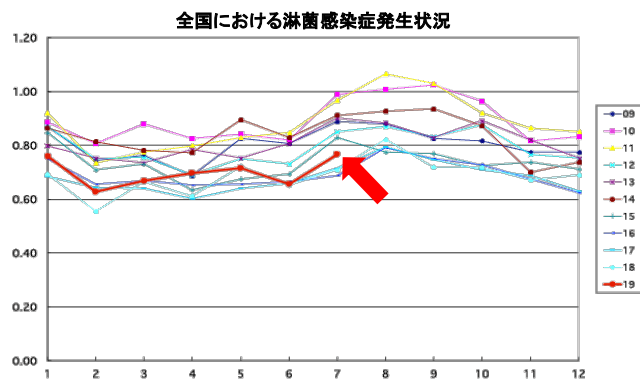
## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.19 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.46 倍で、例年より高いレベルで推移しました。男性は 4 月から 7 月まで例年より高いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。

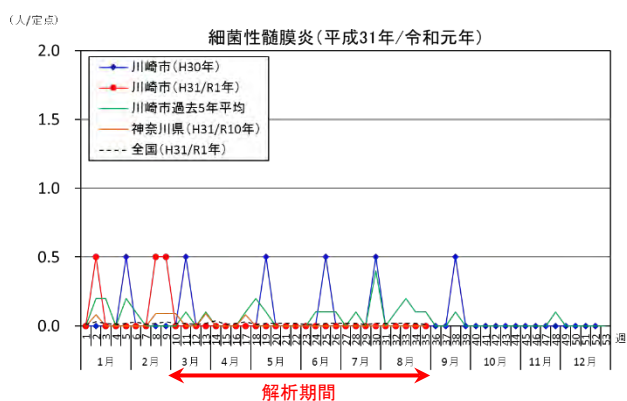


# <基幹定点対象疾患（週報）>

## 細菌性髄膜炎

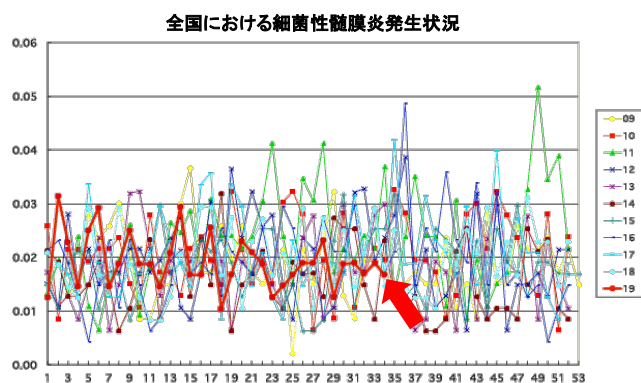
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

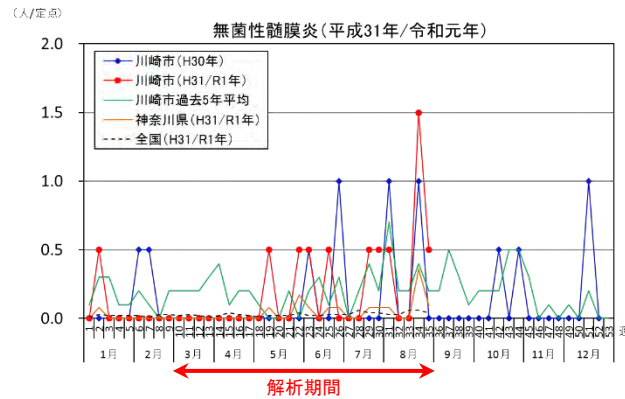
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.21 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.00 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

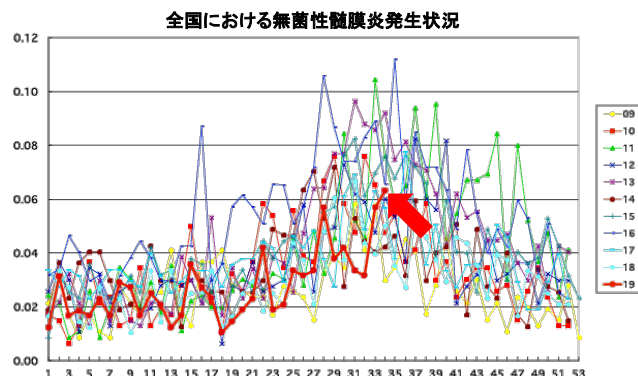


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	39	男	R1.5.7	髄液	水痘带状疱疹ウイルス
川崎区	23	男	R1.5.24	髄液	陰性
宮前区	14	男	R1.5.24	髄液	水痘带状疱疹ウイルス
			R1.5.24	鼻咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 7 型
			R1.5.25	血液	陰性
			R1.5.25	尿	陰性
			R1.5.25	ふん便	陰性
宮前区	9	女	R1.6.4	髄液	陰性
			R1.6.4	咽頭ぬぐい液	陰性
			R1.6.4	血清	陰性
川崎区	28	男	R1.6.19	髄液	水痘带状疱疹ウイルス
川崎区	85	男	R1.7.1	髄液	水痘带状疱疹ウイルス
川崎区	32	男	R1.7.18	髄液	陰性
川崎区	10	男	R1.7.22	髄液	水痘带状疱疹ウイルス
川崎区	1	男	R1.7.29	髄液	陰性
川崎区	2 か月	男	R1.8.18	髄液	コクサッキーウイルス B3 型
川崎区	24 日	男	R1.8.20	髄液	コクサッキーウイルス B5 型

## 【全国及びその他】

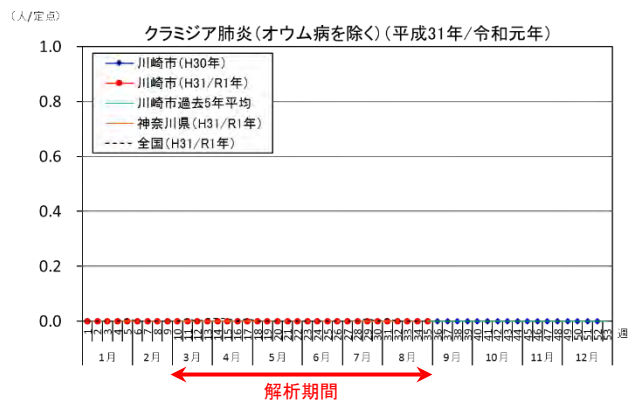
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



## クラミジア肺炎(オウム病を除く)

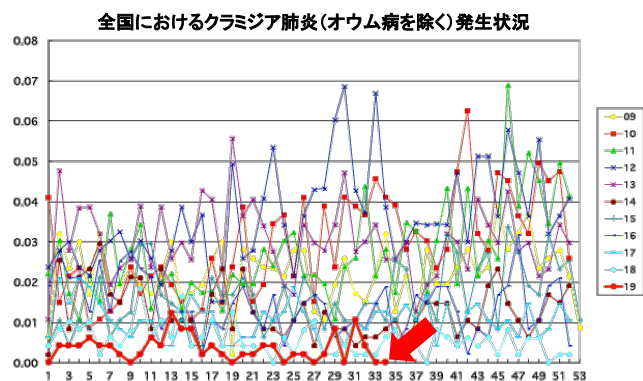
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

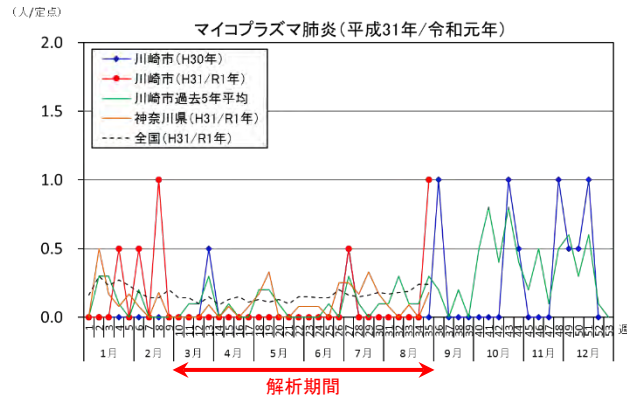
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

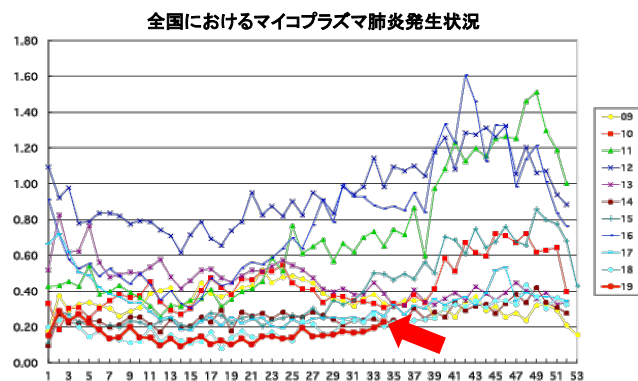
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.59 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。第 27 週に 1 件、第 35 週に 2 件の報告がありました。



## 【全国及びその他】

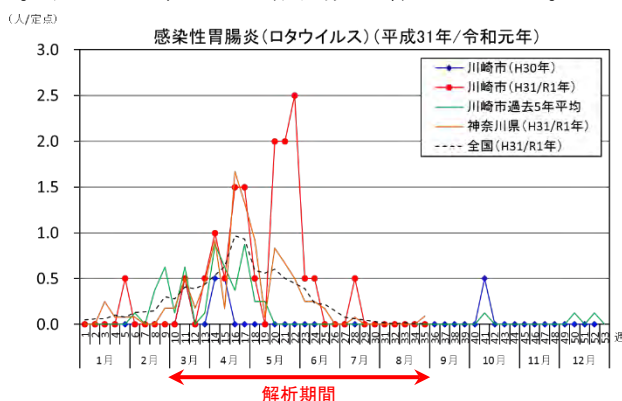
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.54 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 3.97 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。特に 4 月、5 月に報告数が増加しました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
宮前区	女	1	H31.3.15	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
宮前区	男	65	H31.3.26	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	男	7	H31.4.4	ふん便	ロタウイルス G3P[8]
川崎区	男	2	H31.4.4	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	女	3	H31.4.9	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
宮前区	男	2	H31.4.15	ふん便	ロタウイルス G1P[4]
川崎区	女	4	H31.4.19	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
宮前区	女	4	H31.4.19	ふん便	ロタウイルス G2P[4]
川崎区	男	2	H31.4.22	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	男	10 か月	H31.4.26	ふん便	ロタウイルス G9P[8]
川崎区	女	29 日	R1.5.16	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	男	11 か月	R1.5.17	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	女	1	R1.5.17	ふん便	ロタウイルス G9P[8]
川崎区	女	9	R1.5.17	ふん便	ロタウイルス G9P[8]
宮前区	女	4	R1.5.20	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
宮前区	女	2 か月	R1.5.24	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	女	10 か月	R1.5.30	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	男	5	R1.5.30	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	男	1 か月	R1.6.3	ふん便	ロタウイルス G8P[8]
川崎区	男	5	R1.6.7	ふん便	ロタウイルス G3P[8]
川崎区	女	5	R1.6.14	ふん便	ロタウイルス G3P[8]
川崎区	男	10 か月	R1.7.8	ふん便	陰性

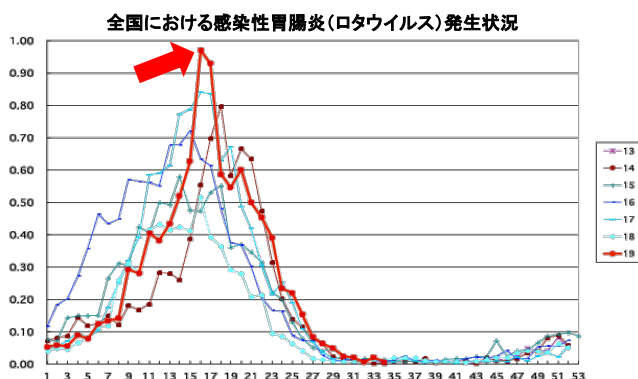
※単価ワクチン：G1P[8]を成分とした弱毒生ワクチン

※5価ワクチン：G1、G2、G3、G4、P1A[8]を成分とした弱毒生ワクチン

単価ワクチン及び5価ワクチンについては、いずれも G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に効果があると添付文書に記載されている。

### 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

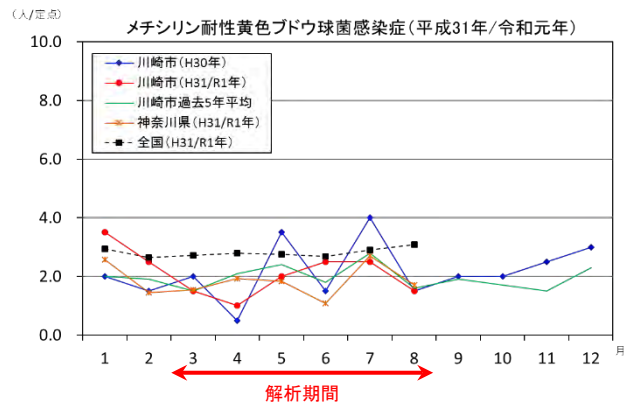


## <基幹定点対象疾患（月報）>

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

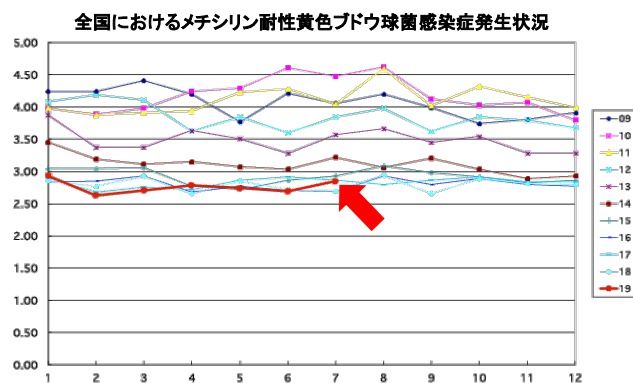
#### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.83 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.90 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



#### 【全国及びその他】

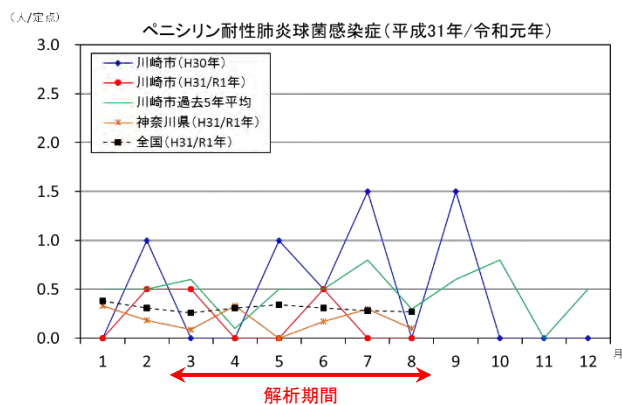
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.17 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.36 倍で、例年より低いレベルで推移しました。3 月、6 月に各 1 件の報告がありました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

